

令和4年度 公社等経営評価シート  
(対象期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日)

概 要	名称	公益財団法人宮崎県暴力追放センター		所在地	宮崎市宮田町13番16号 県庁10号館		
	電話番号	0985-31-0893		ホームページ	https://www.m-botsui.or.jp/		
	設立年月日	平成4年4月1日	代表者	理事長 杉田 浩二	県所管部・課	警察本部 組織犯罪対策課	
	総出資額	495,000千円		県出資額	395,000千円	県出資比率	79.8%
	設立目的	暴力団による不当な行為を防止するための広報活動、暴力団員による不当な行為についての相談事業、暴力団員による不当な行為の被害者に対する見舞金の支給及び民事訴訟の支援等を行うことにより、暴力団員による不当な行為の防止及びこれによる被害の救済を図る。					
	特記事項	① 当法人が行っている事業は、暴力団対策法に基づく事業である。 ② 暴力団対策法に基づき宮崎県公安委員会から県内唯一の暴力追放運動推進センターの指定を受けている。 ③ 平成25年10月24日に、国家公安委員会から暴力団対策法に基づく「適格都道府県センター」の認定を受けている。					

内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度
①公社等のあり方見直し				
② 公社等の経営見直し	経営・事業運営改善	(計画) ・マスメディア等を活用した広報啓発活動の推進 ・平成27年度から、職場環境の見直し(事務所の移転等)	(実績) ・テレビ、ラジオによるスポット放送での暴追広報。テレビ広報104回、ラジオ広報199回、テレビ出演2回、ラジオ出演11回 ・路線バス46台に対する暴力団追放ポスターの掲載 ・事務所移転については、継続案件として検討を実施。	(実績) ・日本相撲協会(琴恵光閣)の協力を得て新たに広報用動画等の作成を行い、広報啓発に努めた。 ・全国暴力追放運動推進センターが発行する広報資料及びセンターにおいて作成した広報資料等を各地区暴追協議会等の参加者等に配布して暴力団排除意識の向上に努めた。 ・テレビによる広報啓発活動102回 ・ラジオによる広報啓発活動176回 ・事務所移転については、継続案件として検討を実施。
	財務改善	・賛助会員の拡大・寄附金獲得の増加 ・債権償還に伴う基本財産の運用見直し	(実績) ・令和2年度は、賛助会費547万5,000円、寄附金200万7,500円を獲得 ・基本財産運用については、国債、地方債の低金利が続いていることから運用方法を検討	(実績) ・令和3年度は、賛助会費539万5,000円、寄附金299万8,500円を獲得 ・賛助会員の拡大・寄附金獲得の増加
	組織等適正化	・代表理事複数化に向けての検討(代表理事2名体制の構築)	(実績) ・代表理事複数化にむけて、定款及び関係規程の改正案を作成。	(完了) ・令和3年6月15日登記変更で、代表理事2名体制へ
③ 人的支援の県見直し と関係 見直し	等			
	財			
④情報公開推進	ホームページでの情報公開の充実	(実績) ホームページによる情報公開の充実	(実績) ホームページによる情報公開の充実	(計画) ホームページでの情報公開の推進

人的支援	(人)	令和3年度				令和4年度			
		合計	県職員	県退職者	左記以外の者	合計	県職員	県退職者	左記以外の者
役員数		13	0	3	10	13	0	3	10
常勤		1	0	1	0	1	0	1	0
非常勤		12	0	2	10	12	0	2	10
職員数		1	0	0	1	1	0	0	1
財政支出等	(千円)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	(千円)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	県委託料	10,679	10,879	9,999	県借入金残高	0	0	0	
	県補助金	0	0	0	県の損失補償契約等に基づく債務残高	0	0	0	
	県交付金・負担金・出資金	0	0	0	県職員人件費(県支給分)	0	0	0	
	その他の県からの支援等								

主な 県財 政支 出の 内容	事業名		事業内容	令和3年度 決算額(千円)	令和4年度 予算額(千円)	種別
	①	事業所暴力団等排除責任者講習委託事業	事業所暴力団等排除責任者に対する反社会的勢力からの不当要求被害防止のための講習会、広報啓発活動の実施	9,999	9,868	委託料
	②					
	③					
	④					
	⑤					

実施 事業	1 暴力団員等による不当な要求行為の被害者に対する支援事業 ① 相談・助言事業 ② 少年保護活動事業 ③ 暴力団離脱更生促進事業 ④ 被害者救済事業
	2 暴力団員等による不当な行為に対する犯罪被害防止事業 ① 広報啓発事業 ② 民間暴力団排除団体等への支援事業 ③ 少年指導委員に対する研修事業 ④ 不当要求情報管理機関への支援事業 ⑤ 調査・研究活動事業 ⑥ 不当要求防止責任者講習等事業

活動 指標	指標名	算式(単位)	令和3年度			令和4年度	令和5年度	
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	目標値	
			①	暴力相談受理件数	年間の暴力相談受理件数(件)	400	382	95.5%
②	研修会参加者数	年間の研修参加者数(人)	3,000	957	31.9%	3,000	3,000	
③	ホームページアクセス数	ホームページ年間アクセス件数(件)	5,700	4,501	79.0%	5,700	5,700	
指標の設定に関する留意事項								

財務 状況	正味財産増減計算書 (千円)				貸借対照表 (千円)			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
		経常収益	25,395	25,313	25,538	資産	521,866	521,910
	経常費用	25,451	25,700	25,623	流動資産	8,550	6,834	7,749
	当期経常増減額	-56	-387	-85	固定資産	513,316	515,075	515,836
	経常外収益	0	0	0	負債	11,756	11,187	12,948
	経常外費用	0	0	0	流動負債	1,440	112	1,111
	当期経常外増減額	0	0	0	固定負債	10,316	11,075	11,836
	当期一般正味財産増減額	-56	-387	-85	正味財産	510,110	510,723	510,637
	一般正味財産期首残高	8,166	8,110	7,723	指定正味財産	502,000	503,000	503,000
	一般正味財産期末残高	8,110	7,723	7,637	(うち基本財産への充当額)	495,000	495,000	495,000
	当期指定正味財産増減額	1,000	1,000	0	(うち特定資産への充当額)	7,000	8,000	8,000
	指定正味財産期首残高	501,000	502,000	503,000	一般正味財産	8,110	7,723	7,637
	指定正味財産期末残高	502,000	503,000	503,000	(うち基本財産への充当額)	0	0	0
	正味財産期末残高	510,110	510,723	510,637	(うち特定資産への充当額)	1,000	1,000	1,000

※千円未満を四捨五入して表示しているため、合計の金額と一致しない場合があります。

財務 指標	指標名	算式(単位)	令和3年度			令和4年度	令和5年度	
			目標値	実績値※	達成度(%)	目標値	目標値	
			①	自己収入比率	(基本財産運用収入+特定財産運用収入+自己収入)/当期支出合計×100	60.0	50.5	84.2%
	※ 令和3年度 実績値の算式	(4,533千円+0千円+8,394千円)/25,623千円×100						
②	管理比率	管理費/当期支出合計×100	30.0	24.6	118.0%	30.0	30.0	
	※ 令和3年度 実績値の算式	6,298千円/25,623千円×100						
③								
	※ 令和3年度 実績値の算式							
指標の設定に関する留意事項								

直近の県監査 の状況	
---------------	--

総合評価	公社等 自己評価	<p>活動面では、コロナ禍で各種活動が制限される中、前年度と同回数程度の不当要求防止責任者講習や各種研修会を実施したほか、新たに著名人を活用した広報啓発活動を推進し、民間企業及び県民に対する暴力追放並びに暴力団排除活動の浸透を図った。</p> <p>財政面では、賛助会の会員数の拡大等を推進し、自助努力による財政基盤の安定化に努めた。</p> <p>組織運営面では、代表理事2名体制を構築した。</p>				県所管部課 二次評価	<p>活動内容については、コロナ禍の影響による参加人数制限のため、研修会参加数は目標値を下回ったが、広い講習会場等の確保に努め、前年度と同回数程度の講習や研修会を開催したことは評価できる。</p> <p>また、ホームページや新たに登用した著名人を活用した継続的かつ効果的な広報啓発活動に努めた結果、暴力団相談受理件数は目標値に近い実績を上げた。</p> <p>財政内容については、低金利の影響で運用収入が低迷し、自己収入比率が目標値を下回っていることから、賛助会費の増加等、自己収入の確保に向けた取組が必要である。</p>																	
	評価 (A、良好、B ほぼ良好、Cやや課題 あり、D課題多い)	改革工程	活動内容	財務内容	組織運営	評価 (A、良好、B ほぼ良好、Cやや課題 あり、D課題多い)	改革工程	活動内容	財務内容	組織運営														
		B	B	B	A		B	B	B	A														
	目標 達成度	<table border="1" style="display: none;"> <caption>目標達成度 (目標達成率)</caption> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>達成率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動指標①</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>活動指標②</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>活動指標③</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>財務指標①</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>財務指標②</td> <td>125</td> </tr> <tr> <td>財務指標③</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>				指標	達成率 (%)	活動指標①	95	活動指標②	35	活動指標③	80	財務指標①	85	財務指標②	125	財務指標③	100	公社等改革 推進委員会 三次評価	<p>活動内容については、新型コロナウイルス感染症対策として研修会の人数制限を行ったため目標を下回ったものの、暴力団相談受理件数は上方修正した目標をおおむね達成しており、積極的な相談対応に取り組んでいることから一定の評価ができる。</p> <p>財務内容については、低金利の影響で運用収入が低迷し、自己収入比率が目標を下回っている状態が続いているため、自己収入の確保や経費節減の取組が必要である。</p> <p>暴力団追放という極めて公益性の高い事業を担っていることから、健全な財務体質を維持しながら、効果的な活動を実施していくことが求められる。</p>			
指標	達成率 (%)																							
活動指標①	95																							
活動指標②	35																							
活動指標③	80																							
財務指標①	85																							
財務指標②	125																							
財務指標③	100																							